

教科名	数学	科目名	数学Ⅰ	単位数	2単位
学年	第2学年		男子 6名	女子 9名	計 15名
教科担任氏名	岩城 潔史		使用教科書	新高校の数学Ⅰ（数研出版）	
科目の目標	図形と計量、データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

評価の観点	趣 旨	配 分
関心・意欲・態度	図形と計量、データの分析の考え方に関心を持つとともに、数学の良さを認識し、それらの事象を考察に活用しようとする。	20%
思考・判断	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通じて、図形と計量、データの分析における数学的な見方や考え方を身に付けている。	20%
技能・表現	図形と計量、データの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	30%
知識・理解	図形と計量、データの分析における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	30%

月	時間数	学 習 内 容	関・意・態	思・判	技・表	知・理	評価方法
4月	5h	第3章 図形と計量 第1節 三角比 1. 直角三角形			○	○	観察 チェック
5月	8h	2. 三角比 3. 三角比の値		○	○		課題プリント
6月	10h	4. 三角比の利用 5. 三角比の相互関係	○	○	○	○	ノートプリント
7月	5h	第2節 三角形への応用 1. 正弦定理	○		○		週末課題
8月	3h	2. 余弦定理	○	○	○		定期考査
9月	10h	3. 三角形の面積 4. 鈍角の三角比		○	○	○	

10 月	1 0 h	第4章 データの分析					
		1. データの整理				○	
		2. データの代表値			○		
11 月	7 h	3. データの散らばり (1)	○	○	○		
12 月	6 h	4. データの散らばり (2)	○	○	○		
1 月	4 h	5. データの相関と散布図	○	○	○		
2 月	6 h	6. 相関係数	○	○			
3 月	6 h	1 年間の総復習					